

オホーツク地域の概要



北海道農政事務所
北見地域拠点

第1 地域の概況(1)

- ◇位置：北海道の北東部に位置し、オホーツク海と約280kmの海岸線で接し、西は北見山地、南は阿寒山系、東は知床連山に囲まれ、世界自然遺産に登録されている知床や網走国定公園など豊かな自然に恵まれた地域である。
- ◇気候：冬期間の寒さは厳しいものの、比較的穏やかで、年間平均降水量は800ミリ前後と少なく、日照時間も多い。冬には北緯44度付近においても沿岸部が流水で覆われるという、世界的にも稀な特色がある。
- ◇「オホーツク紋別空港」、「女満別空港」の2つの空の玄関口と、国土交通省指定の「紋別港」、「網走港」の2つの重要港湾があり、日本各地と繋がる重要な役割を果たしている。



18市町村(3市14町1村)



◇網走市は、道内屈指の二条大麦生産地であり、ビールの原料として利用される



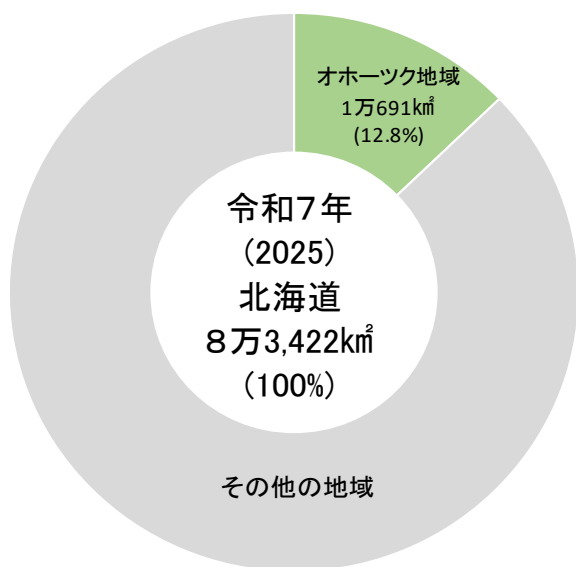
◇北見市のたまねぎ出荷量は、全国の20%(R5年)を占め、国内最大の生産地である。



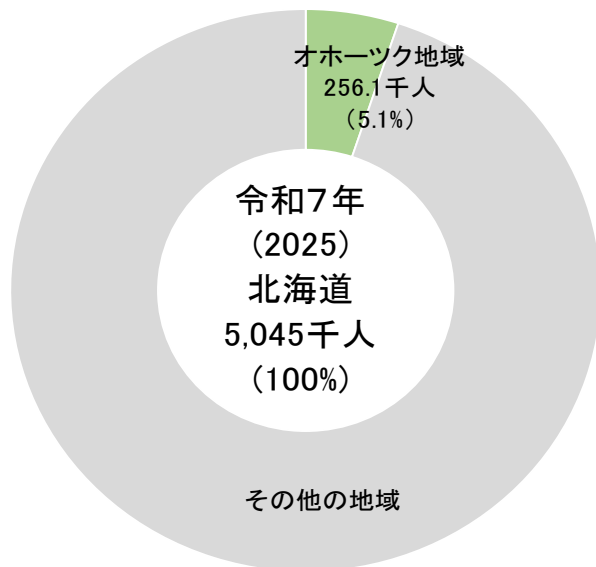
第1 地域の概況(つづき)

- ◇ 総土地面積は1万691km² で、北海道の12.8%を占め、秋田県や岐阜県とほぼ同じ。
- ◇ 総人口は25万6千人で、北海道の5.1%を占め、そのうち北見市の人口が43.0%を占めている。

総土地面積



人口割合



資料: 国土交通省国土地理院「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(令和7年7月1日)」
注: 四捨五入のため、計と内訳が一致しない場合がある(以下同じ)。

資料: 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和7年1月1日現在)」

第2 農業の概要

- ◇ 全国一の生産量を誇るたまねぎをはじめ、小麦やてんさい、ばれいしょなどの畑作や酪農など大規模農業が展開されている。
- ◇ 地域の気象や土壌条件などに応じ、東紋地域（佐呂間町、遠軽町、湧別町）及び西紋地域（紋別市、雄武町、興部町、西興部村、滝上町）では酪農が中心で、斜網地域（網走市、美幌町、津別町、斜里町、清里町、小清水町、大空町）及び北見地域（北見市、置戸町、訓子府町）では畑作での輪作や野菜を中心とした経営が行われている。



たまねぎの収穫作業



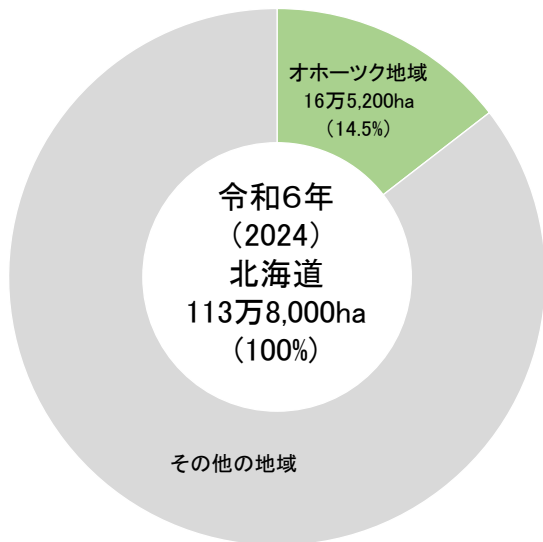
丘陵地に広がるてんさい畑

1 農業構造の状況

耕地面積

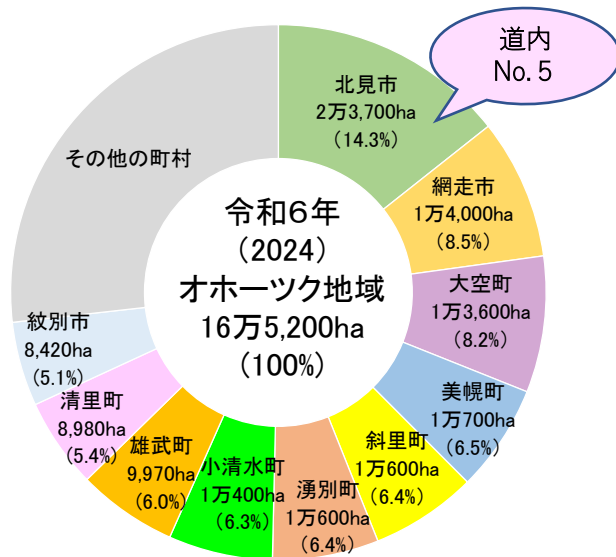
- 耕地面積は16万5,200haで、北海道の14.5%を占めている。
- 市町村別の耕地面積は、大きい順に北見市、網走市、大空町の順となっている。このうち北見市は道内で5番目に耕地面積が大きい。
- 主要農作物の作付面積は、小麦、てんさい、ばれいしょ、たまねぎの順に多く、小麦、てんさい、ばれいしょを主体とした輪作が行われている。

耕地面積の割合



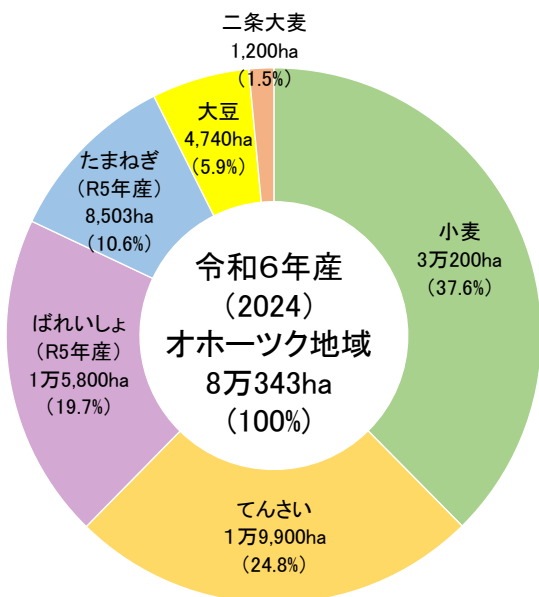
資料:農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の耕地面積割合



資料:農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

主要農作物の作付面積



ばれいしょ畑



てんさいの移植作業

資料:農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

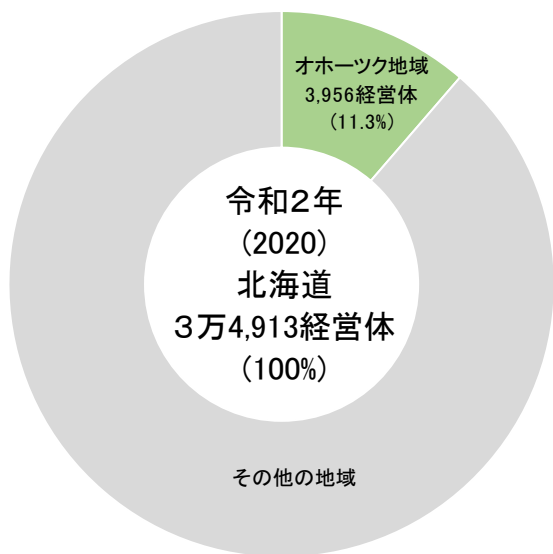
注1:ばれいしょ、たまねぎは、令和5年産の値である。

注2:たまねぎは、指定産地(「野菜生産出荷安定法」第4条の規定に基づき農林水産大臣が指定し告示した産地)に包括されている市町村の集計値である。

農業経営体

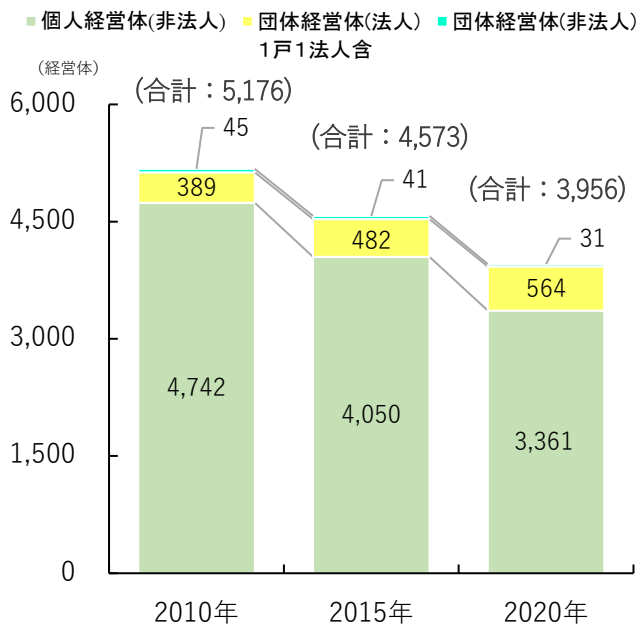
- 農業経営体数は3,956経営体で、北海道の11.3%を占めている。
- 農業経営体数は、2010年から10年間で1,220経営体減少。団体経営体数は161経営体増加している。
- 農産物販売金額1位の部門別経営体数割合は、大きい順に、露地野菜（22.8%）、雑穀・いも類・豆類（20.2%）、酪農（19.1%）、工芸農作物（18.8%）の順となっている。
- 個人経営体における年齢別農業従事者数は、60歳以上が全体の45.2%となっている。

農業経営体数の割合



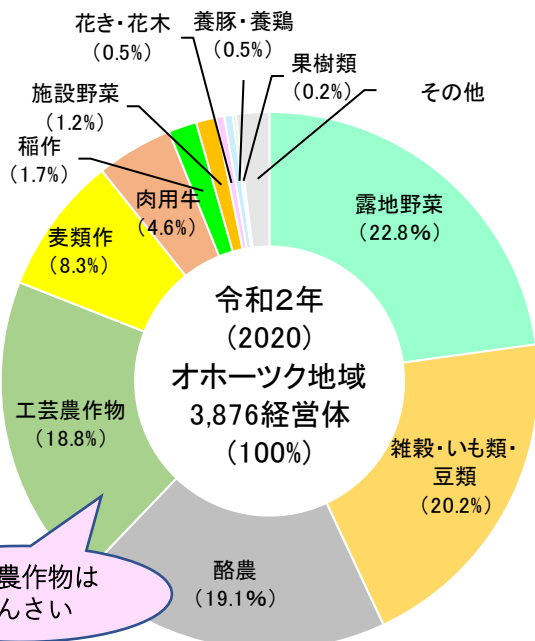
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

農業経営体数の推移



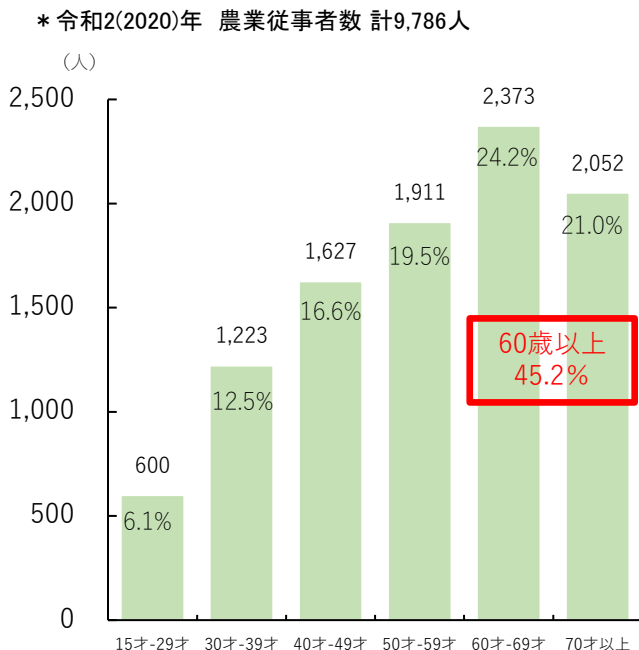
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

農産物販売金額1位の部門別経営体数割合



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

年齢別農業従事者数（個人経営体）



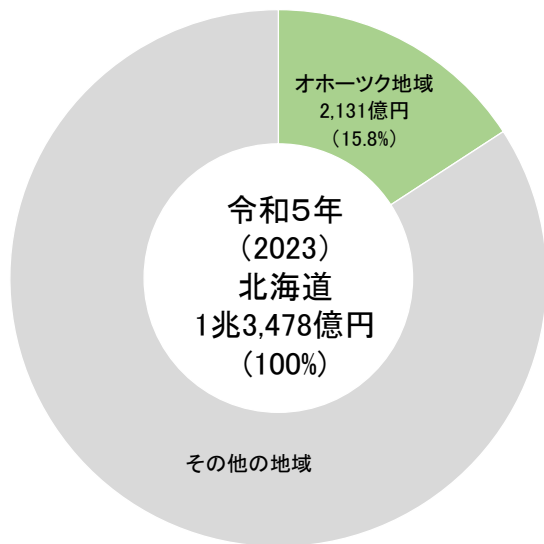
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

農業産出額

- ・農業産出額は2,131億円で、北海道の15.8%を占めている。
- ・農業産出額の多い市町村は、大きい順に、北見市、網走市、湧別町、訓子府町、美幌町の順となっている。北見市は道内で2番目に産出額が多い。
- ・品目別の農業産出額では、乳用牛と野菜で59.3%を占めている。野菜のうち、たまねぎの産出額は80.7%（496億円）である。

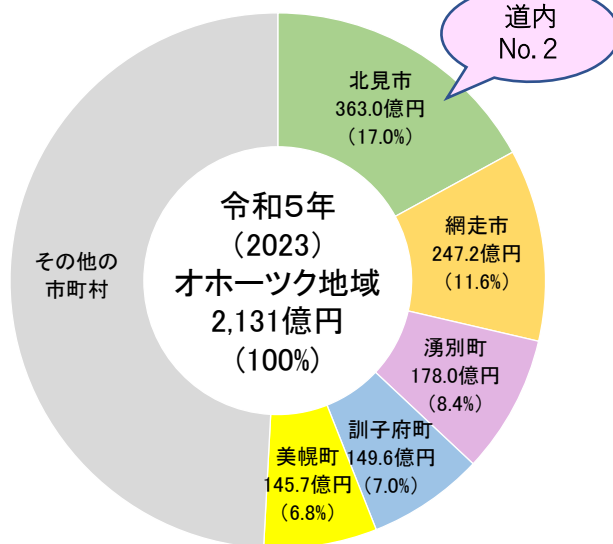
・「市町村別農業産出額（推計）」は、都道府県別農業産出額を農林業センサス及び作物統計を用いて市町村別に按分して作成したものであり、たまねぎの産出額は、オホーツク地域管内の市町村の値を足し上げて算出した（秘匿措置が講じられているものは除く。）。

農業産出額の割合



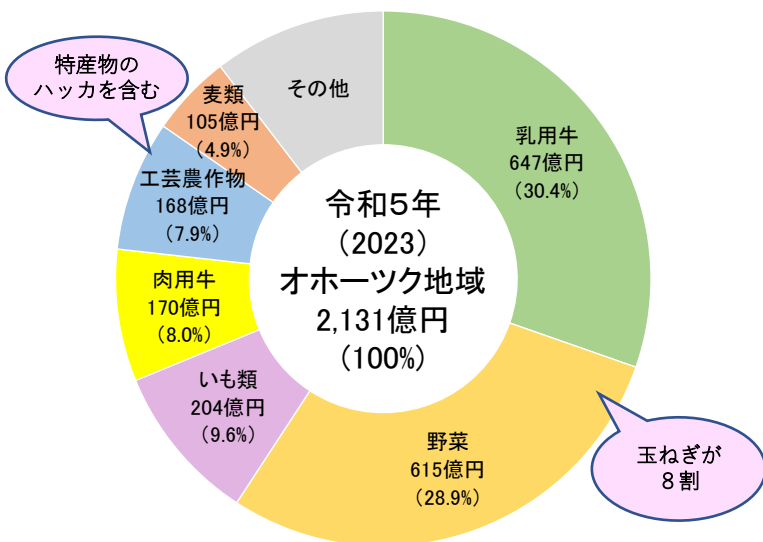
資料: 農林水産省統計部「生産農業所得統計」、「市町村別農業産出額(推計)」

市町村別の農業産出額割合



資料: 農林水産省統計部「市町村別農業産出額(推計)」

品目別農業産出額の割合



資料: 農林水産省統計部「市町村別農業産出額(推計)」

注: その他には、米、雑穀、豆類、果実、花き、その他作物、豚、鶏、その他畜産物が含まれている。



ハッカの蒸留作業



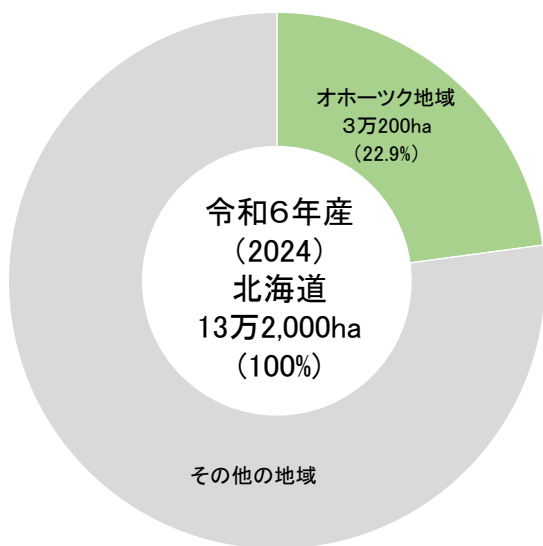
コンテナに積み込まれたたまねぎ

2 主要農畜産物の生産等の状況

小麦

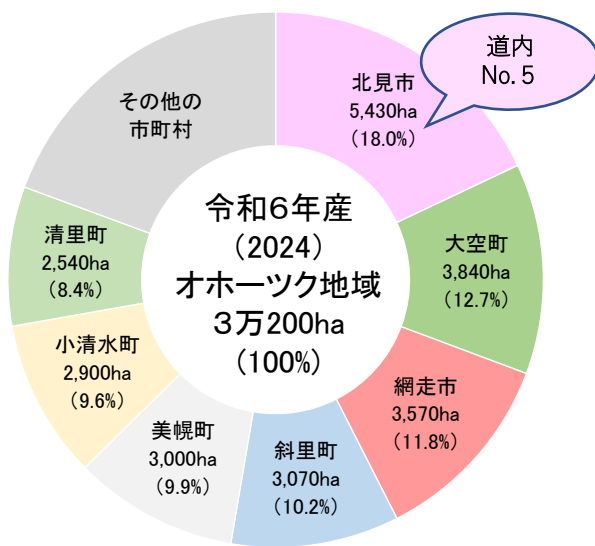
- 作付面積は3万200haで、北海道の22.9%を占めている。
- 市町村別の作付面積は、大きい順に、北見市、大空町、網走市、斜里町、美幌町の順となっている。北見市は道内で5番目に作付が多い。
- 収穫量は17万2,200tで、北海道の24.1%を占めている。
- 令和6年産の秋まき小麦の作付面積は、前年産に比べて100haの減少。10a当たり収量は、前年産に比べて26kg低下した。

作付面積の割合



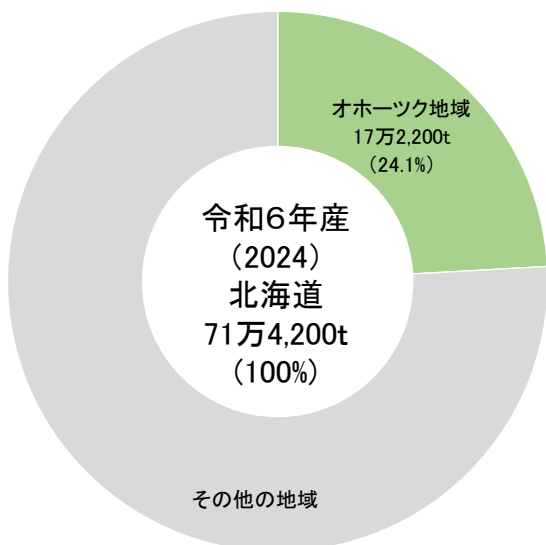
資料: 農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



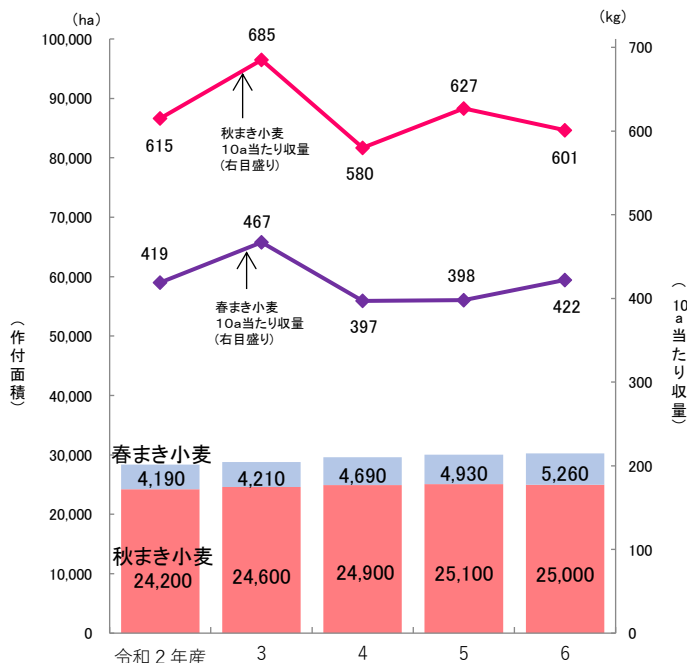
資料: 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料: 農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移

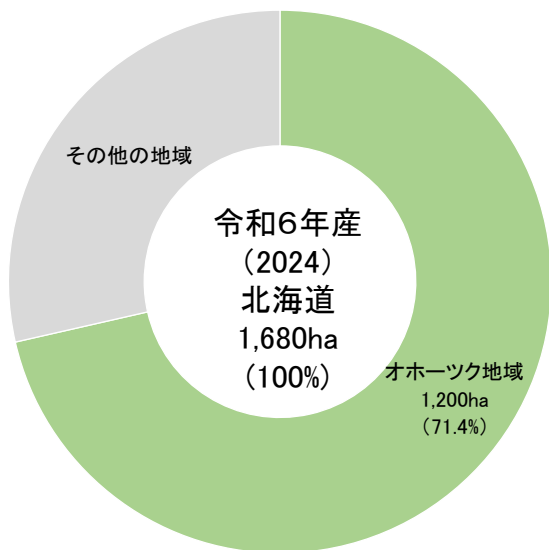


資料: 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

二条大麦

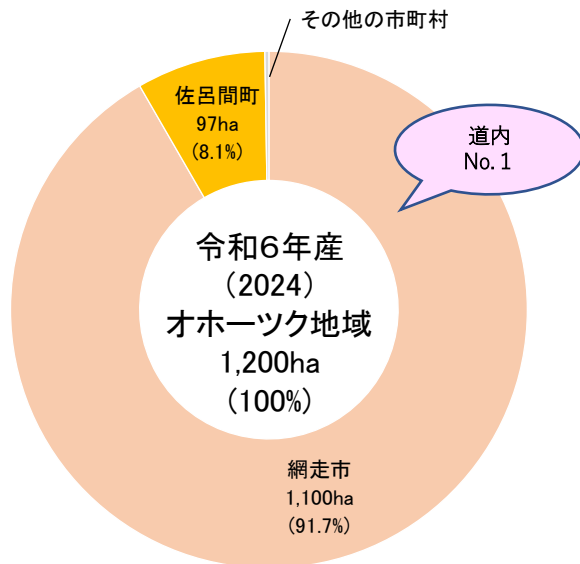
- 作付面積は1,200haで、北海道の71.4%を占めている。
- 市町村別の作付面積は、大きい順に、網走市、佐呂間町の順で、この2市町で管内のほぼ100%を占めている。このほか管内では訓子府町、大空町で作付があり、網走市は道内市町村の中で最も作付が多い。
- 収穫量は4,960tで、北海道の73.5%を占めている。
- 令和6年産の作付面積は、前年産に比べて65haの減少。10a当たり収量は、前年産に比べて30kg上昇した。

作付面積の割合



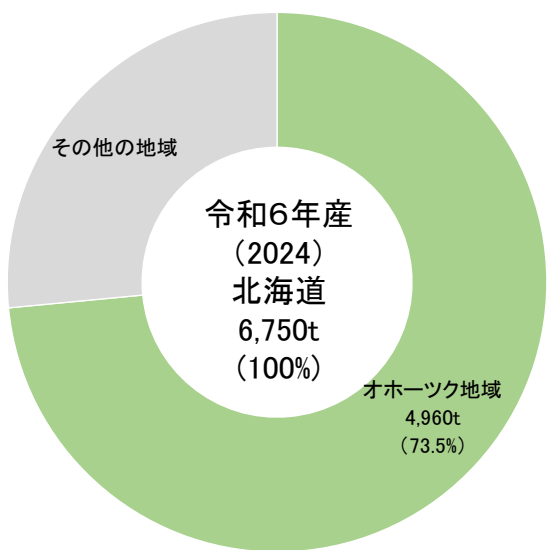
資料: 農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



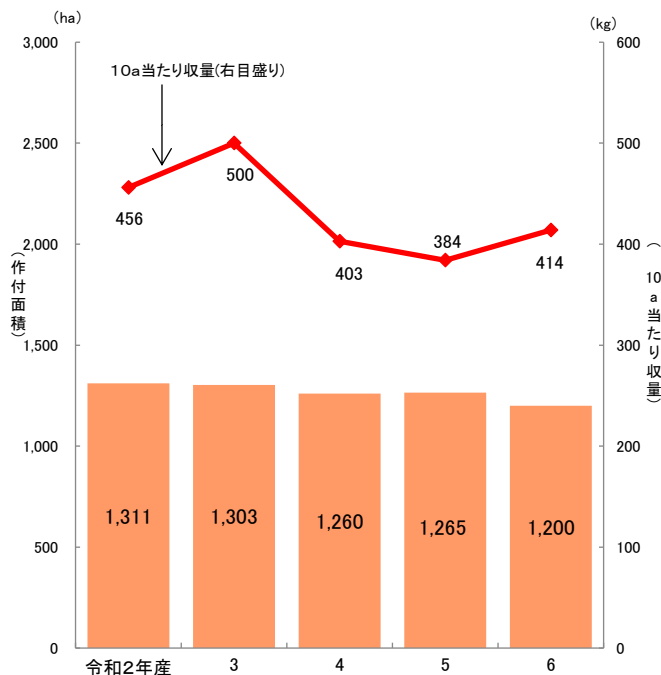
資料: 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料: 農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移

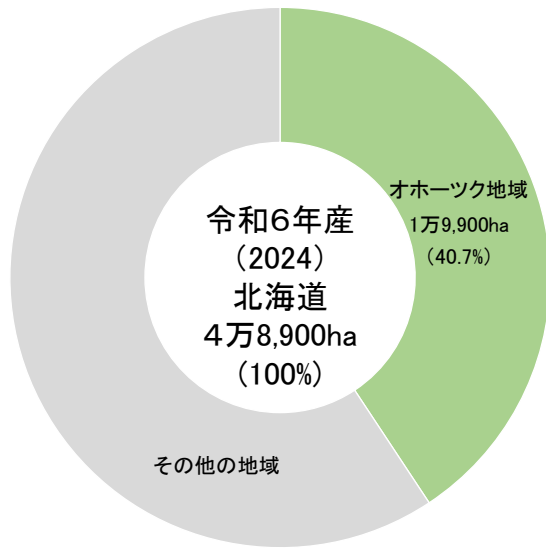


資料: 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

てんさい

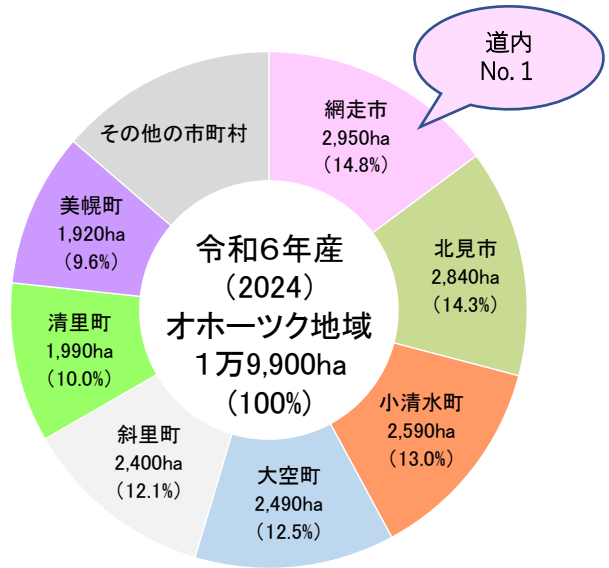
- 作付面積は1万9,900haで、北海道の40.7%を占めている。
- 市町村別の作付面積は、大きい順に、網走市、北見市、小清水町、大空町の順となっている。網走市は道内市町村の中で最も作付面積が大きい。
- 収穫量は139万3,000tで、北海道の40.0%を占めている。
- 令和6年産の作付面積は、前年産に比べて800haの減少。10a当たり収量は、前年産に比べて270kg上昇した。

作付面積の割合



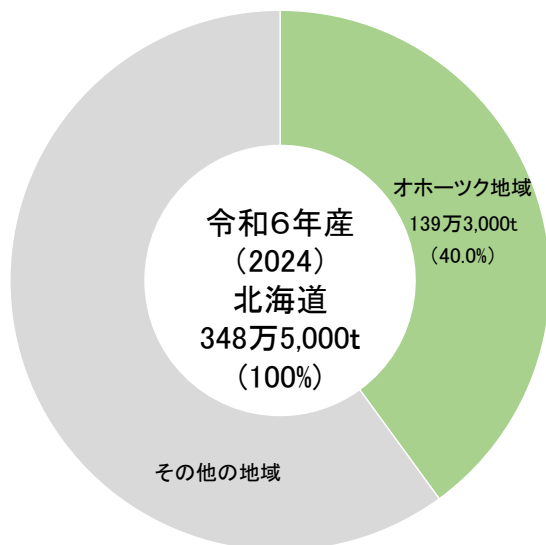
資料: 農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



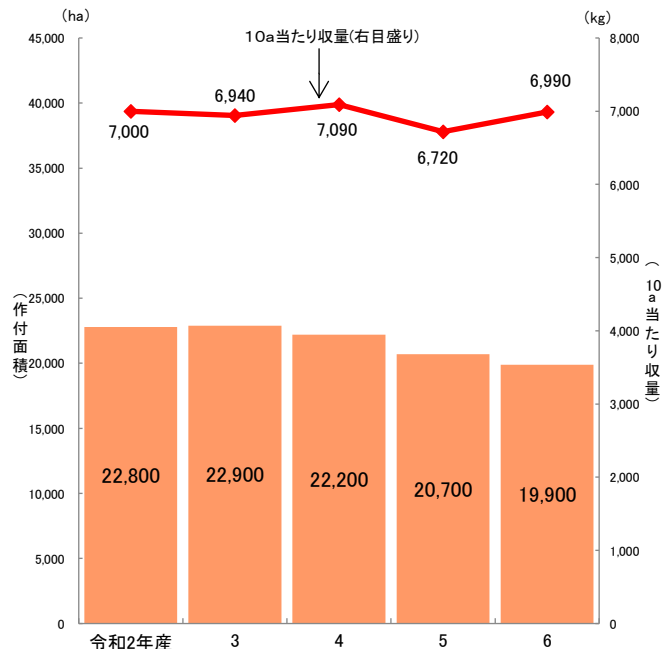
資料: 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料: 農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移

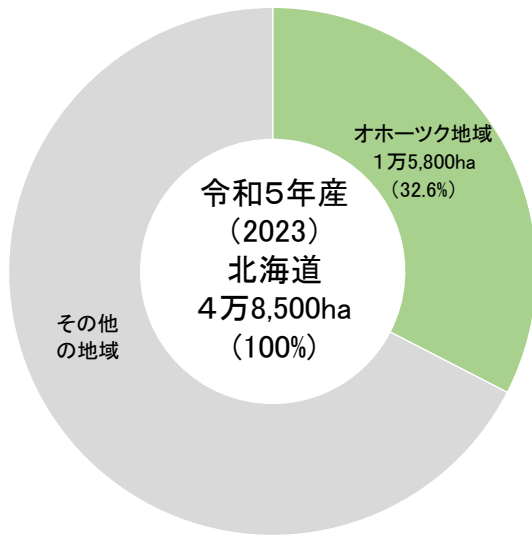


資料: 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

ばれいしょ

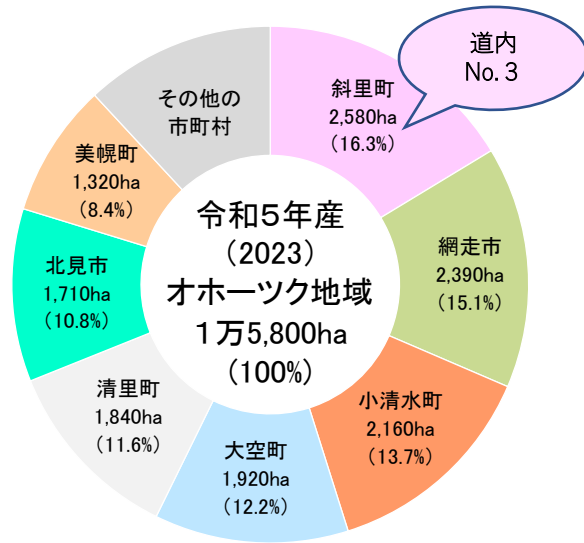
- 作付面積は1万5,800haで、北海道の32.6%を占めている。
- 市町村別の作付面積は、大きい順に、斜里町、網走市、小清水町、大空町の順となっている。斜里町は道内市町村の中で3番目に作付が多い。
- 収穫量は66万4,500tで、北海道の34.7%を占めている。
- 令和5年産の作付面積は、前年産に比べて100haの増加。10a当たり収量は、前年産に比べて160kg低下した。

作付面積の割合



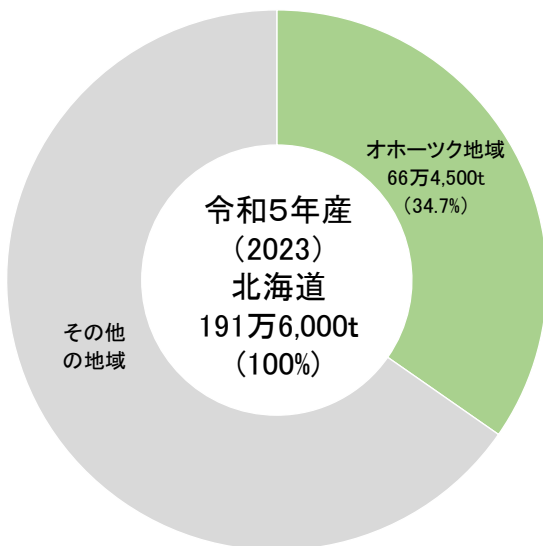
資料: 農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



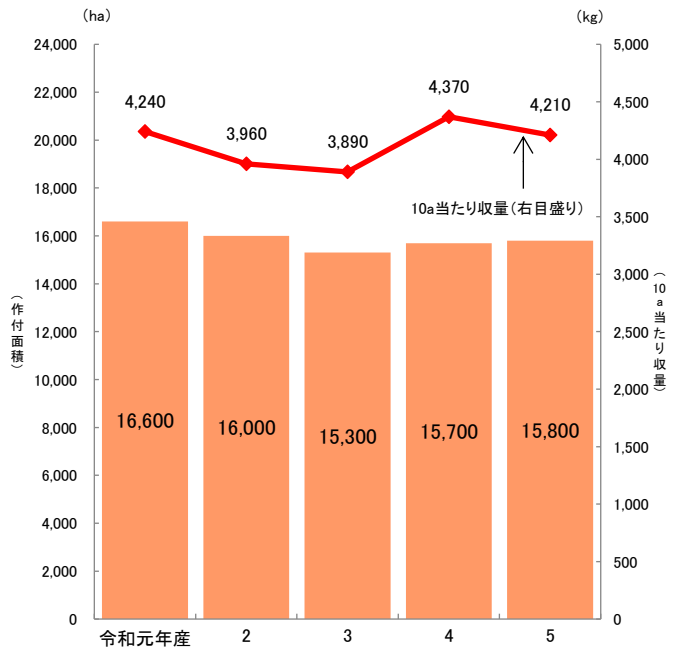
資料: 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料: 農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移

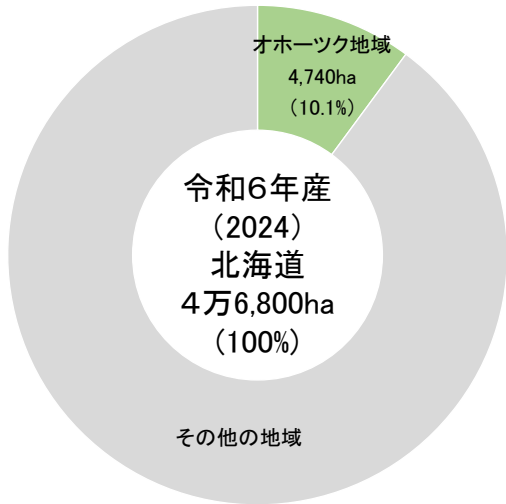


資料: 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

大豆

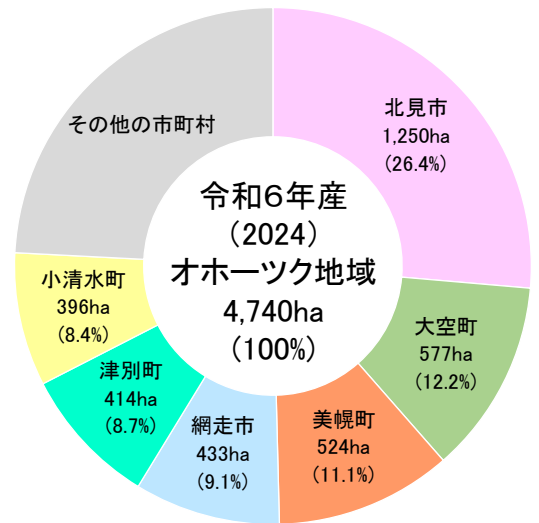
- 作付面積は4,740haで、北海道の10.1%を占めている。
- 市町村別の作付面積は、大きい順に、北見市、大空町、美幌町の順となっている。
- 収穫量は1万4,200tで、北海道の10.7%を占めている。
- 令和6年産の作付面積は、前年産に比べて610haの増加。10a当たり収量は、前年産に比べて15kg上昇した。

作付面積の割合



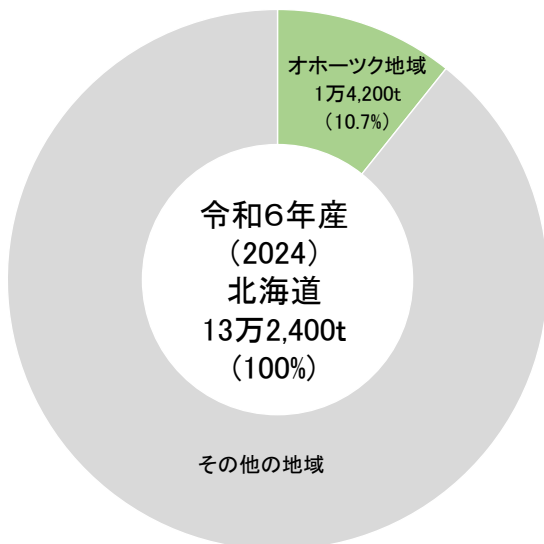
資料: 農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



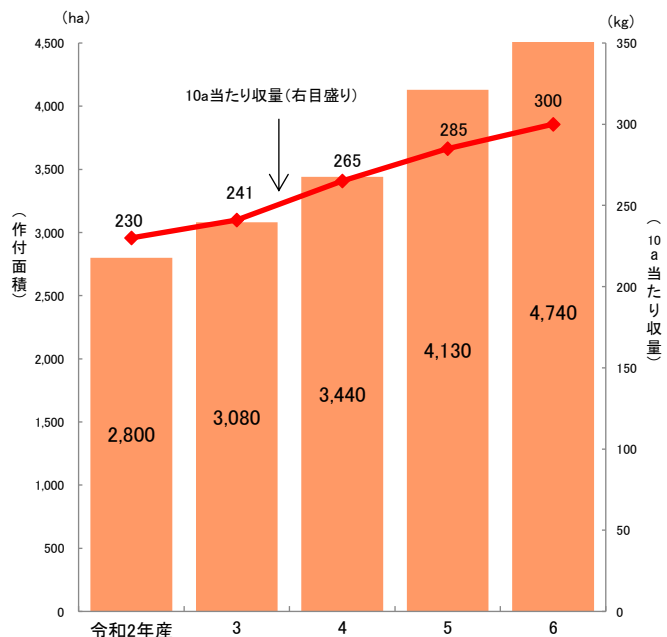
資料: 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料: 農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移

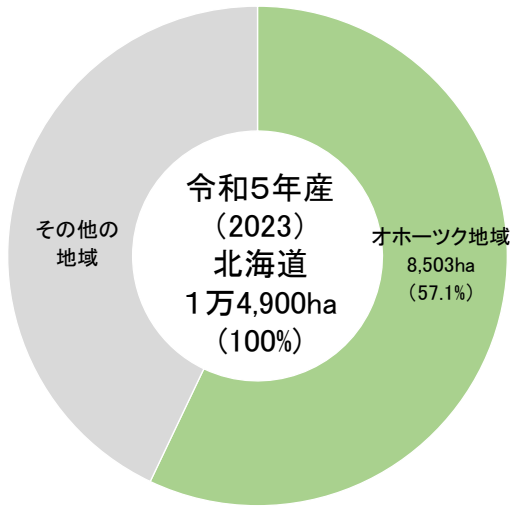


資料: 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

たまねぎ

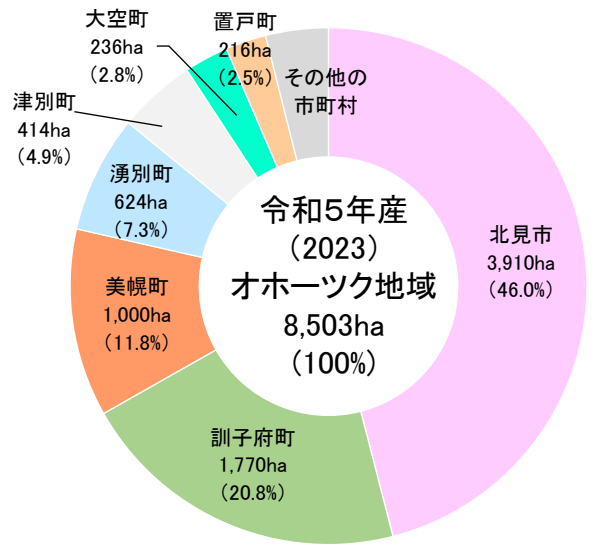
- 作付面積は8,503haで、北海道の57.1%を占めている。全国の作付面積（2万5,500ha）の約3割を占める管内の主要野菜で、国内最大の生産地となっている。
- 市町村別の作付面積は、大きい順に、北見市、訓子府町、美幌町の順となっている。
- 収穫量は46万2,480tで、北海道の61.5%を占めている。
- 令和5年産の作付面積は、前年産に比べて198haの増加。10a当たり収量は、前年産に比べ419kg低下した。

作付面積の割合



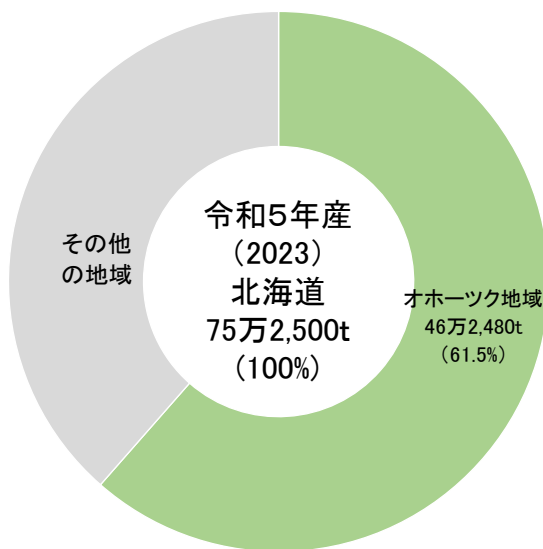
資料: 農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



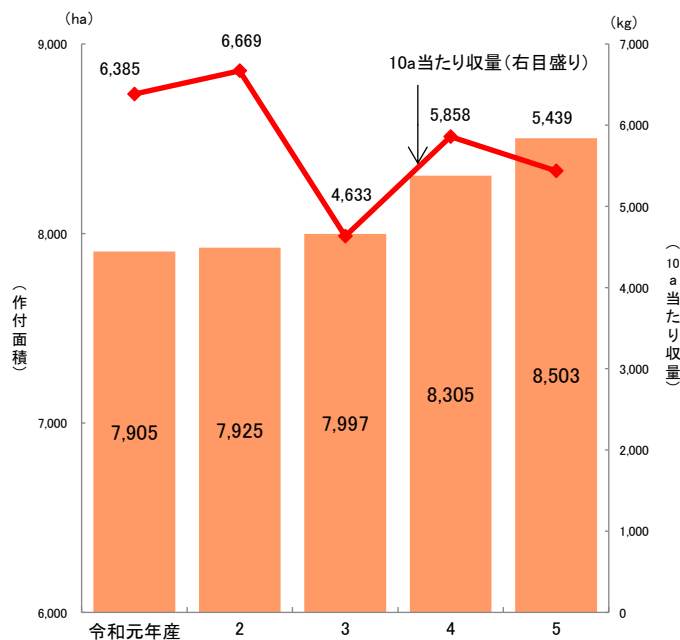
資料: 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料: 農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移



資料: 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

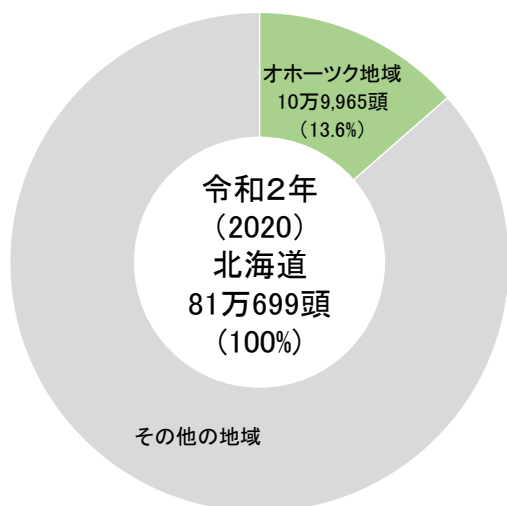
注: 作付面積は、指定産地(「野菜生産出荷安定法」第4条の規定に基づき農林水産大臣が指定し告示した産地)に包括されている市町村の集計値である。また、10a当たり収量は該当している市町村の収穫量を集計し、作付面積で除して算出した。

乳用牛

- 飼養頭数は10万9,965頭で、北海道の13.6%を占めている。
- 市町村別の飼養頭数は、大きい順に、湧別町、紋別市、興部町の順となっている。湧別町は道内で10番目に飼養頭数が多い。
- 牧草専用地の面積は4万4,525haで、北海道の10.7%を占めている。
- 1経営体当たり飼養頭数は106.8頭（2010年センサス）、116.4頭（2015年）、144.3頭（2020年）と増加している。

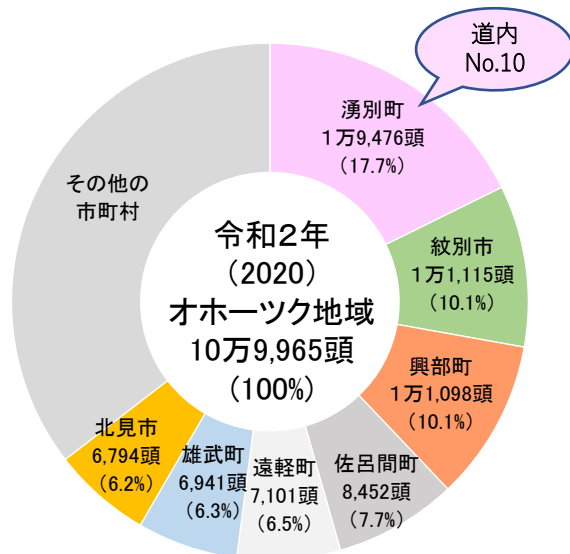
※1経営体当たり飼養頭数は、農林業センサスの乳用牛飼養経営体数と飼養頭数により算出している。

飼養頭数の割合



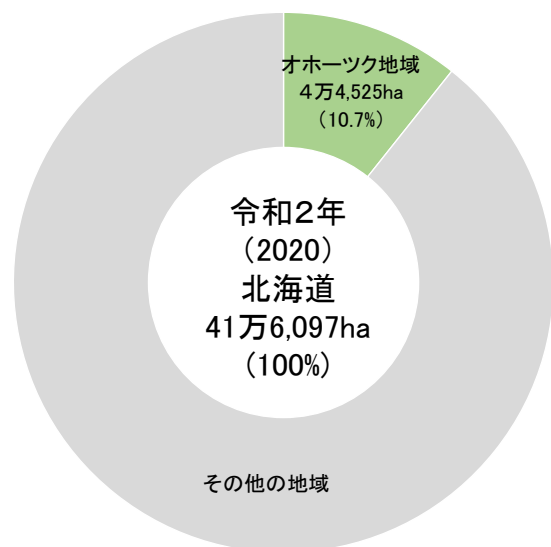
資料:農林水産省統計部「農林業センサス」

市町村別の飼養頭数割合



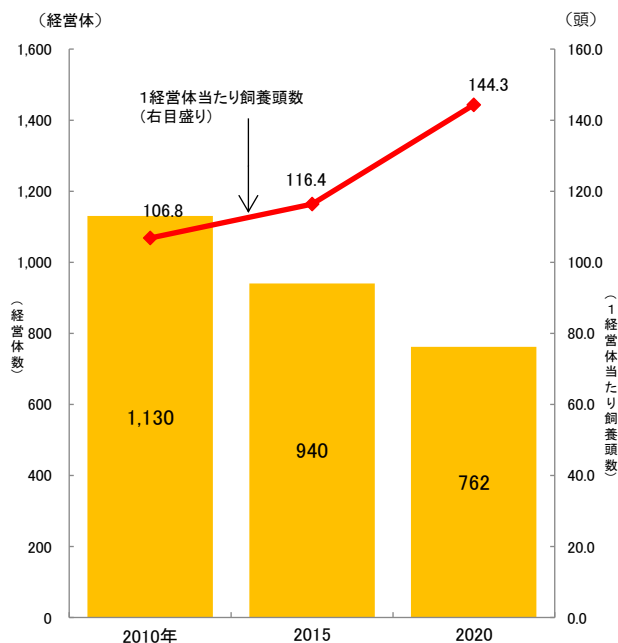
資料:農林水産省統計部「農林業センサス」

牧草専用地の割合



資料:農林水産省統計部「農林業センサス」

飼養経営体数・1経営体当たり飼養頭数の推移



資料:農林水産省統計部「農林業センサス」

第3 地域の取組事例

1 食育活動

大空町

食育活動で消費・安全局長賞を受賞
(株式会社大地のMEGUMI)

大空町女満別で有機栽培・特別栽培を行っている株式会社大地のMEGUMIは、食育事業を16年もの間継続していることが評価され、令和5年6月に「第7回食育活動表彰」において、消費・安全局長賞を受賞しました。

この食育事業は、主に大規模畑作農業が展開されるオホーツク地域で有機農業を行うにあたって「周囲の理解と協力が必要」と考え、「理解構築」のための取組の一つとして始められました。

事業の特徴は、年間6回の学校給食への食材提供や料理教室、出前授業に加え、本格的な栽培体験があること。化学農薬不使用のため除草作業など人の手による作業の多い有機栽培ならではの大変さを体験し、環境にやさしい農業について理解を深めてもらうことを目的に、町内の小学生が2haの畑に入って播種、マルチはがし・除草、収穫と体を動かし、かぼちゃの栽培を行います。

なお、生産者側としても、「食育の提供者」としてだけでなく、子どもたちと接することで伝える力が付いたなど、実施により得ることも多く、お互いが「やってよかった」と感じるwin-winな関係であることも長年にわたって継続できたポイントとして大きいとのこと。



【栽培体験作業についての説明】
(写真は大地のMEGUMI提供)



【お祭りでの販売】
(写真は大地のMEGUMI提供)

2 農業振興

小清水町

宿泊と農業体験の複合施設を中心とした農業振興の取組
(小清水町アグリハートセンター『フェリーチェ』)

令和4年4月9日、農業振興拠点施設「小清水町アグリハートセンター『フェリーチェ』」が、平成30年に閉校した小清水高校跡地にオープンしました。本施設は、小清水町が基幹産業である農業の担い手育成、特産品を利用した新商品の開発などの拠点として整備したものです。

施設には、担い手を養成するための教室や一般の方も宿泊できる宿泊室、食品の製造・開発のための商品開発室等が整備されているほか、敷地内には温泉熱を利用する園芸ハウス（スイートコーン等を栽培）が2棟あり、幅広く活用可能な施設となっています。

収穫等の農作業体験を実施するとともに、観光協会等と連携した農作業体験ツアーの宿泊場所、農業インターン生の滞在場所として活用することで、担い手の育成等に取り組んでいます。

また、JAこしみずが労働者確保のために取り組む産地間連携によって本州（東京、大阪、愛媛、福岡）から来町した農作業スタッフの滞在拠点として使用されており、繁忙期の労働力確保にもつながっています。

これからもまちに人をよび、農業の担い手を育てる施設として期待が寄せられます。



【施設の外観】
(写真はアグリハートセンター提供)



【温泉熱を利用する園芸ハウス】

3 スマート農業

訓子府町



【実証農場全景】

スマート農業等の取組と「コネクテッドファーム構想」
(ホクレン訓子府実証農場)

ホクレン訓子府実証農場では、ロボットトラクター、アスパラガス自動収穫機、可変施肥、農薬可変・ピンポイント散布、タイストール用搾乳ロボットなど、農業の自動化/省力化、データの活用に関する技術実証のほか、担い手向けとしてスマート農業機器等操作の基礎研修、酪農実習など新しい技術を現場で展開する人材の育成に取り組んでいます。

各地のJAや生産者単位でスマート農業の取組が進められている中、同農場での担い手育成の取組は、技術習得の機会が少なくスマート農業の効果が十分に発揮されないことやデータが有効に使い切れていないなどの課題の解消が期待されます。

「コネクテッドファーム構想」は、ホクレン訓子府実証農場の圃場環境を活用して、生産性の向上や新たな価値を創造しようという発想から生まれた構想です。

- ①組織のコネクト（産官学連携の促進）
- ②技術のコネクト（データと実装作業の連結）
- ③人のコネクト（先人技術を学べる場の提供）を同農場での実証を通じて形成し、
- ④地域へ結ぶコネクトを形成して、現場の技術実装の加速化を図ることを目指しています。（下線部はホクレン営農情報誌アグリポート文中から引用URL:<https://agriport.jp/agriculture/ap-9110/>）



出展：ホクレン営農情報誌アグリポート コネクテッドファーム構想<下>より <https://agriport.jp/agriculture/ap-9494/>

【コネクテッドファーム構想】

4 バイオマス

興部町



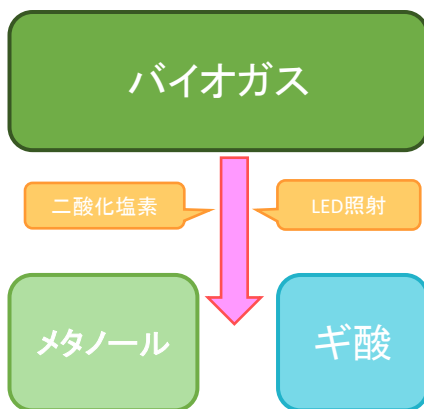
【プラント外観】

家畜排せつ物等を利用した「興部北興バイオガスプラント」

興部町では、酪農の飼養規模大型化に伴い、排せつ物処理時の悪臭や環境汚染等に対する心配の声が増え、漁業者や地域住民から多く寄せられていました。これらの課題解決のため、バイオマスを活用した家畜排せつ物処理や新たな産業づくり等を目的とし、平成20年に「バイオマスタウン構想」を策定し、同26年には「バイオマス産業都市」に選定され、これらに基づき同27年～28年の2か年で酪農家6戸が事業参加し、総工費約8億円をかけ、バイオガスプラントの町営施設を建設しました（平成28年10月30日竣工）。

興部北興バイオガスプラントでは、家畜ふん尿等のバイオマス資源を発酵処理して得られたバイオガスに含まれるメタンガスを燃焼させることで発電を行っています。また、発酵の残さであるメタン発酵消化液は液体と固形分に分離し、液体は液肥として牧草地に散布され、固形分は家畜の敷料に再生され地域の酪農家に利用されています。

また、興部町と大阪大学は、令和元年6月26日に参加技術開発連携協定を締結し、共同研究の結果、世界で初めてバイオガスからメタノール（液体燃料や樹脂などの化学製品の原料）とギ酸（家畜飼料添加剤）の製造に成功し、令和4年5月に実用化に向けたパイロットプラントが竣工しました。



5 農福連携

紋別市

誰もが暮らしやすい地域づくりを目指して
(株式会社エムリンクオホーツク)

【水耕栽培の様子】



【包装作業の様子】

株式会社エムリンクオホーツクは、平成29年に紋別市が開設した植物工場「紋別ベジタブルファクトリー」を就労継続支援A型事業所「植物工場夢ふうせん」として運営しており、ほうれん草、小松菜、レタスを水耕栽培しています。

植物工場夢ふうせんでは、30名（令和5年7月現在）の障がい者が働いています。

同社では、障がい者個々の特性を十分に理解した上で、本人が興味を持った作業を優先して割り振り、できないことを無理に習得してもらうことは避けるようにしています。

これにより、は種から出荷まで、ほぼ全ての作業に障がい者が関わっています。

栽培した野菜は、オホーツク管内のスーパーや市内の給食センターに出荷されており、収穫した野菜が商品として店頭で陳列される等、自分のがんばりが目に見える形となり、成果を確認できることでさらなるやりがいにつながっています。

6 体験型観光

網走市

農林水産業や景観に触れる、新しい体験型観光を提供
(Connectrip (コネクトリップ))

【地元産食材を使ったピザ作り体験】
(写真はオホーツク農山漁村活用体験型
ツーリズム推進協議会提供)



【体験学習(農場、コンバイン見学)】
(写真はオホーツク農山漁村活用体験型
ツーリズム推進協議会提供)

「オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会」は平成30年に民間団体、大学、行政などによって設立され、農山漁村振興交付金（農泊推進対策事業）を活用しながら活動を開始しました。

令和元年には網走市呼人に交流拠点「Connectrip (コネクトリップ)」を開設し、地元の農林水産関係者の協力を得ながら、オホーツクの1次産業や食、景観を堪能できる体験コンテンツを提供しています。

地域産業ガイドの育成により雇用創出にも貢献しており、漁業者がガイドを行うカヤックツアーでは、自身の体験に基づく話題を提供することで参加者の満足度が増すとともに、ガイドにとっても地域の価値を見直す契機となっています。また、小中学校を対象として地域産業を学ぶためのモニターツアーを実施したところ、「地域の産業を知る良い機会となった」との高評価を受け、令和4年には、総合学習の時間に体験学習を実施しました。

令和4年11月にはこれまでの活動が高い評価を受け、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第9回選定)において優秀賞(コミュニティ・地産地消部門)に選定されました。

市町村別の総土地面積、耕地面積、総人口等

市町村	総土地面積		耕地面積						総人口		世帯数		農業 経営体数	
	道内 シェア	道内 シェア	計	道内 シェア	田	道内 シェア	畑	道内 シェア	道内 シェア	道内 シェア	道内 シェア	道内 シェア	道内 シェア	道内 シェア
	km ²	%	ha	%	ha	%	ha	%	人	%	戸	%	経営体	%
オホーツク 地域	10,691	12.8	165,200	14.5	1,610	0.7	163,600	17.8	256,098	5.1	139,883	5.0	3,956	12.7
北見市	1,427	1.7	23,700	2.1	1,070	0.5	22,600	2.5	110,046	2.2	61,448	2.2	768	2.5
網走市	471	0.6	14,000	1.2	6	0.0	14,000	1.5	32,199	0.6	17,876	0.6	338	1.1
紋別市	831	1.0	8,420	0.7	-	-	8,420	0.9	19,760	0.4	11,560	0.4	92	0.3
美幌町	438	0.5	10,700	0.9	65	0.0	10,600	1.2	17,329	0.3	9,189	0.3	366	1.2
津別町	717	0.9	5,690	0.5	26	0.0	5,670	0.6	3,970	0.1	2,133	0.1	144	0.5
斜里町	737	0.9	10,600	0.9	-	-	10,600	1.2	10,513	0.2	5,458	0.2	264	0.8
清里町	403	0.5	8,980	0.8	-	-	8,980	1.0	3,622	0.1	1,670	0.1	206	0.7
小清水町	287	0.3	10,400	0.9	-	-	10,400	1.1	4,342	0.1	2,037	0.1	294	0.9
訓子府町	191	0.2	7,040	0.6	109	0.0	6,930	0.8	4,448	0.1	2,090	0.1	295	0.9
置戸町	527	0.6	4,790	0.4	-	-	4,790	0.5	2,543	0.1	1,351	0.0	84	0.3
佐呂間町	405	0.5	7,470	0.7	-	-	7,470	0.8	4,646	0.1	2,460	0.1	135	0.4
遠軽町	1,332	1.6	7,690	0.7	2	0.0	7,690	0.8	17,646	0.3	9,622	0.3	95	0.3
湧別町	506	0.6	10,600	0.9	-	-	10,600	1.2	7,901	0.2	4,042	0.1	257	0.8
滝上町	767	0.9	3,640	0.3	-	-	3,640	0.4	2,208	0.0	1,275	0.0	54	0.2
興部町	363	0.4	6,310	0.6	-	-	6,310	0.7	3,495	0.1	1,830	0.1	76	0.2
西興部村	308	0.4	1,620	0.1	-	-	1,620	0.2	956	0.0	639	0.0	18	0.1
雄武町	637	0.8	9,970	0.9	-	-	9,970	1.1	4,033	0.1	2,224	0.1	58	0.2
大空町	344	0.4	13,600	1.2	336	0.2	13,300	1.4	6,441	0.1	2,979	0.1	412	1.3

資料：国土交通省国土地理院「令和7年全国都道府県市区町村別面積調（令和7年7月1日）」
 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計（令和6年）」、「2020年農林業センサス」
 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和7年1月1日）」

注：ラウンドの関係で、計と内訳は一致しない場合がある。

市町村別の農業産出額（推計）

単位：1,000万円

市町村	農業産出額		耕 種										畜 産								
			小 計		米	麦類	雑穀	豆類	いも類	野菜	工芸農作物	その他農作物	小 計		肉用牛	乳用牛	生乳	豚	鶏	その他畜産物	
	道内順位	道内順位	道内順位	道内順位																	
オホーツク地域																					
北見市	3,630	2	3,093	1	76	163	1	62	223	2,326	227	5	537	49	55	415	381	62	0	6	
網走市	2,472	10	891	13	1	189	0	31	311	101	253	7	1,582	11	60	179	162	651	691	0	
紋別市	816	61	17	143	-	1	-	0	0	10	5	1	800	34	179	619	553	0	-	1	
美幌町	1,457	22	1,237	8	3	88	1	27	159	807	150	x	220	85	122	96	89	-	0	2	
津別町	1,285	31	745	22	1	52	1	33	65	545	46	0	540	48	303	225	207	-	0	12	
斜里町	1,137	36	913	12	-	103	2	13	340	238	213	0	224	84	19	75	70	x	40	x	
清里町	733	67	593	28	-	87	0	18	224	87	178	1	140	95	18	121	112	-	-	1	
小清水町	1,247	33	884	14	-	111	0	21	283	215	243	x	363	66	31	327	304	-	0	5	
訓子府町	1,496	21	1,113	9	7	29	-	10	98	914	48	1	383	65	17	351	317	-	1	14	
置戸町	474	91	198	85	-	16	-	5	51	96	27	4	277	76	33	244	222	-	-	-	
佐呂間町	1,200	34	119	103	-	27	2	6	3	50	30	1	1,081	19	509	526	485	45	-	1	
遠軽町	525	81	79	108	-	21	0	0	8	35	12	3	446	58	54	382	337	x	0	x	
湧別町	1,780	18	443	39	-	19	-	2	5	384	28	4	1,337	16	149	1,147	1,041	-	-	41	
滝上町	321	113	48	125	-	14	-	1	0	26	7	1	273	78	30	241	218	-	-	3	
興部町	653	72	16	144	-	-	-	-	-	-	0	x	638	44	15	618	551	-	-	5	
西興部村	208	138	8	152	-	-	-	-	-	0	-	7	201	87	1	200	180	-	-	-	
雄武町	449	94	7	154	-	-	1	-	2	0	-	4	442	59	25	417	381	-	-	0	
大空町	1,425	26	1,027	11	21	134	0	48	269	323	217	15	399	63	85	285	260	27	-	2	

資料：農林水産省統計部「令和5年市町村別農業産出額（推計）」
 注1：「市町村別農業産出額（推計）」は、都道府県別農業算出額を農林業センサス及び作物統計を用いて市町村別に按分して作成したものである。
 注2：その他農作物は、果実、花き及びその他作物の計であり、秘匿措置が講じられている品目を除いて単純に合算したものである。
 注3：道内順位の順位付けは、原数（100万円）により判定したものである。